

# 大阪国際大学

2018年2月26日

報道関係者 各位

-----

## 大阪国際大学(大阪府守口市、宮本郁夫学長)人間科学部心理コミュニケーション学科が、大阪府岬町の多奈川小学校で実践した「フォト・ベースド・コミュニケーション」の成果を3月7日(水)に守口キャンパスで報告会を開催

-----

フォトコミュニケーション(通称フォトコミ)とは、カメラというツールを通して、子どもたちが自己表現する力を身に付け、自己肯定感を向上させることを目的とした教育プログラム。大阪国際大学心理コミュニケーション学科の青野明子教授と林幸史准教授がフォトスタジオsoramarck代表の相葉幸子氏とともに、昨年10月30日と11月24日の2回、多奈川小学校の児童を対象に実施しました。この試みには、心理コミュニケーション学科の学生8人も参加しました。報告会は3月7日(水)午後3時から4時15分まで、1号館213教室で。一般の聴講可。

第1回のテーマは「発見」。児童には本格的な一眼レフカメラが用意され、思い思いに校庭や校舎でシャッターを切りました。第2回のテーマは「想いを撮る」。二人一組になり、カメラマン役になった児童は「あなたが『ありがとう』を伝えたい人は誰ですか？」などと質問しながら、相手の想いが来た瞬間にシャッターを切るという高度な試み。さらに心理コミュニケーション学科の教員と学生は、このプログラムがもたらす児童たちの心理的変化や教育効果を、専門的観点から測定。報告会では児童が撮った写真の紹介とあわせて、それらの調査データの説明が行われます。近年の小・中学校では、子どもたちの自己肯定感が向上しないことが問題視されており、このフォトコミが現代社会の大きな課題の解決に答え得るものか否か、報告会での説明が待たれています。

【本件に関するお問い合わせ】

学校法人大阪国際大学

教学・教職センター次長 貞光啓史

〒570-8555 守口市藤田町6-21-57

TEL 06-6902-0791(代)

(発信元：大阪国際学園法人本部事務局 広報課)

